和歌山県立向陽高等学校

発行日：H25．8．３０

向陽 SSH NEWS 第４号

編集：向陽高校SSH事務局

7月29日
WRO(ワールド・ロボット・オリンピアード)2013関西大会
(エキスパート高校の部)物理部：優勝と第5位　3年連続全国大会へ

車検前のロボット

7/29(月)、追手門学院大阪城スクエアにて実施されたWRO2013関西大会に、物理部から5チーム14名の生徒が出場しました。

WRO(World Robot Olympiad)とは、レゴブロックを使用した自律型ロボット(人が操作せず、プログラムによって動きを制御するロボット)の製作と制御するためのプログラムを開発し、ミッションを行い、得点とタイムを競うロボットコンテストです。

今大会のミッションは、コモド島に上陸し移動、あるいは海上を移動し、コモドドラゴンの卵に見立てた赤いボールを回収し、ベースエリアに持ち帰ることでした。

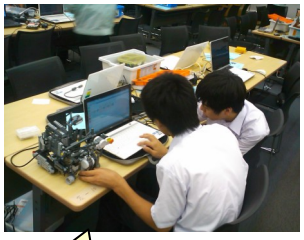
出場した５チームのうち2チームが100点満点をとり、タイムが一番早かった『Albatross』チームが優勝、『Frequency』チームが第5位に入賞しました。優勝したチームは9/8(日)東京で開催されるWRO Japan決勝大会(全国大会)へ出場します。全国大会で優秀な成績を残すと11月にインドネシアのジャカルタで開催される世界大会への出場権を得ることができます。

表彰式で全国への意気込みを聞かれた本校生徒は、『今よりも精度の高いロボットを製作して決勝大会に臨みたいです。』『昨年度の決勝大会では準優勝だったので、今年度は全国制覇します。』と世界を見据えた発言をしていました。

また、昨年度世界大会へ出場しているため、その時の様子や感想を発表する時間もあり、本校生徒はパワーポイントを使い、世界大会で戦うために大切なことは何かを自分の言葉で発表しました。

ロボットの調整で話し合う本校生徒

昨年度出場した世界大会の発表



プログラム最終調整中

表彰式　優勝メンバー受賞

7月11日
第1回SSH運営指導委員会開催される

７月11日（木）、第１回ＳＳＨ運営指導委員会が開かれました。運営指導委員の先生方、和歌山県教育委員会と本校職員が出席し、会議が進められました。委員長には、和歌山大学の石塚教授が、副委員長に和歌山県立医科大学の坂口教授が選ばれました。その後、本校の事務局より、昨年度のＳＳＨ研究開発の実施報告や今年度の事業計画などの説明、質疑応答が行われました。運営指導委員の先生方から、昨年度の取組、生徒の活動について、検証していただきました。

また、再指定3年目を迎えたSSHの活動をさらに充実させるため、今後の取組やアンケート解析などについて、ご意見・ご助言をいただきました。

運営指導委員の先生方

石塚　亙　先生	和歌山大学教育学部 教授
島田 哲夫 先生	和歌山大学システム工学部 教授
木村 憲喜 先生	和歌山大学教育学部 准教授
坂口 和成 先生	和歌山県立医科大学医学部 教授
細井 美彦 先生	近畿大学生物理工学部 教授
重藤 和明 先生	雑賀技術研究所 理事
前田 育克 先生	和歌山県工業技術センター 副所長
北垣 有信 先生	和歌山市立西脇中学校 校長